

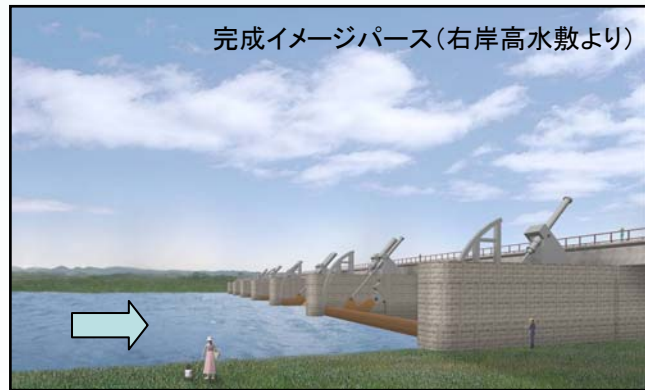
新年度がはじまりました。

大河津可動堰の本体工事がようやく発注され、現地も忙しくなってきます。

堰本体工事がはじまります

新しい可動堰の本体工事が発注・契約となり、いよいよ本体工事がはじまります。

本体工事では堰本体の基礎部と堰柱部、管理橋左岸(長岡市寺泊)側の下部工を、平成21年度末までの工期で施工を行います。
 なお、今回の工事で残った部分(堰本体の一部、ゲート、管理橋の橋桁・右岸側下部工)については、工事の進捗に合わせて今後発注する予定です。
 工事の順序など具体的な内容については、次号以降でご紹介していきます。



完成イメージパース(右岸高水敷より)

工事件名:大河津可動堰改築本体Ⅰ期工事

施工業者:大河津可動堰改築本体工事大成・東急・地崎特定建設工事共同企業体
 (大成・東急・地崎JV)

現在の工事状況

大河津橋下流で行われている河道掘削及び護岸工事は、新たに河道となる箇所土砂掘削がほぼ完了し、残った掘削土砂の土質改良・搬出と護岸工事を進めています。土砂搬出は5月上旬まで行う予定です。



施工状況全景(大河津橋より下流を望む)



粗朶沈床

木工沈床

護岸ブロック



木工沈床のアップ写真

護岸・粗朶沈床・木工沈床
 施工状況

粗朶沈床・木工沈床は、雑木の枝や間伐材を利用して枠組みを作り、この中に石を詰めしていきます。
 詰め石のすきまは魚などの水生生物のすみかになるなど、自然の材料を利用し、生きものにも配慮しました。

工事が完了しました

以前の回覧板でご紹介してきました、第一床固の災害復旧工事、真木山地区の築堤工事が完了しました。

第一床固の災害復旧工事

可動堰下流、第一床固の災害復旧工事は、洪水で亀裂・段差・めくれが発生したコンクリートを取り除き、新たにコンクリートを打設しました。新可動堰が完成するまで、現在の可動堰を安全に機能させるための必要最小限な工事としました。

乱れもなく、スムーズに流れているのがわかるかと思います。



真木山地区の築堤工事

真木山地区の築堤工事は、県道を一時切り回し、堤防箇所の盛土を行っていました。以前よりずいぶん高くなっていると思います。

平成18年以降も継続して工事を進め、高くなった堤防の上に県道を戻す計画です。平成18年の工事の実施時期など詳細が決まりましたら、ご紹介したいと思います。引き続きよろしくお祈りします。



工事開始前の状況



3月中頃の状況



『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.go.jp/shinano/>

可動堰情報館
<http://kadouzeki.jp>

信濃川大河津資料館
<http://ohkouzu.jp>